

本調査研究は、民生委員・児童委員、主任児童委員に期待される役割と委員活動が円滑にすすむための環境整備の検証、及び地域住民・関係機関への周知を図ることを目的に、(1) 児童委員活動等の状況に関するアンケート調査、(2) 児童委員活動等の状況に関するヒアリング調査、(3) 児童委員活動等に関する実践事例集作成の3点を実施した。

(1) アンケート調査結果について

児童委員・主任児童委員等約500人（令和元年度全国主任児童委員研修会申込者）を対象に、「A：主任児童委員等による実践事例アンケート調査」（A アンケート調査）と「B：主任児童委員等の体制に関するアンケート調査」（B アンケート調査）を実施した。A アンケート調査では集約した917事例の自由記載からキーワードを抽出し、集計・分析した。活動内容で最も多かったのは、「登下校時の身守りや公園の安全点検等などの子どもの安全・安心のための身守り活動」であった。学校、市区町村、社会福祉協議会などとの連携事例が多く、連携先数は延べ約2,500件であった。B アンケート調査では、所属民児協の約7割に児童福祉関係部会があることや児童委員と主任児童委員との連携状況、児童委員活動に対する民児協の組織支援など、民児協の取り組み体制が明らかとなった。

(2) 児童委員活動等の状況に関するヒアリング調査について

2種のアンケート調査結果を踏まえ8か所の民児協を選び、活動立ち上げ時や継続のための要因、関係機関・団体等との連携・協力体制、活動の効果についてヒアリング調査を実施した。その結果、①地域の子どもや子育て家庭をめぐる課題を把握し、解決に向けて組織的に取り組んでいること、②新たな活動を始めるにあたり、他の地域ですでに実践している事例を見学したり研修会に参加したりするなど情報収集し、自らの地域で実現可能な条件を探り、活動につなげていること、③運営資金や活動拠点の確保などのハード面の整備の必要性、④活動の振り返りを行い、社会状況を加味しながら活動を見直し、自分たちが無理なくできる範囲で活動していること、⑤関係機関・団体と連携・協働して運営することで、それぞれの強みを生かした豊かな活動が生まれていることなどが明らかとなった。そして、ヒアリング調査の内容をもとに実践事例集を作成した。

(3) 今後の児童委員、主任児童委員活動の充実・強化に向けた10の提言

民生委員・児童委員、主任児童委員活動の環境整備と充実・強化を図るために必要な視点を提言にまとめた。

《10の提言》①民児協会長を中心とした組織的な活動であること、②多様な関係機関・団体と連携、協働した活動であること、③参加者のニーズに応じた活動であること、④PDCAサイクルを活用した活動の振り返りと見直しを行うこと、⑤活動をとおしてやりがいや達成感を感じ、楽しむこと、⑥働きながら活動を続けることができるための環境整備を図ること、⑦民生委員・児童委員、主任児童委員活動の周知を図ること、⑧主任児童委員の活動の質の向上、⑨活動の継続に向けた運営費、活動拠点などの確保に向けた支援、⑩主任児童委員が民児協の中で孤立しないようにしていくこと。

これら調査結果と提言を、民児協会長のリーダーシップのもとで「わがまちならでは」の児童委員活動を推進し、子どもたちが健やかに育ち安心して子育てができる地域づくりのために必要な、児童委員活動の環境整備につなげたい。